

取扱いの趣旨

シスタチンCは、早期の腎機能障害のマーカーとして有用とされているが、末期腎不全、腎不全（透析施行中）に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年4月30日》

138 シスタチンCの算定について

○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対するD007「30」シスタチンCの算定は、原則として認められる。
 - (1) 腎機能低下（疑い含む。）
 - (2) 慢性腎炎
 - (3) 腎不全の疑い
- ② 次の傷病名に対するD007「30」シスタチンCの算定は、原則として認められない。
 - (1) 末期腎不全
 - (2) 腎不全（透析施行中）

○ 取扱いを作成した根拠等

シスタチンCは、腎臓における糸球体濾過量(GFR)の指標で、GFRの低下に伴い上昇する。血清クレアチニンはGFRが30ml/min 前後まで低下しないと上昇を示さないのに対して、シスタチンCはGFRが70ml/min 前後まで低下した時点で上昇を示すことから、早期の腎機能障害のマーカーとして有用とされている。一方、腎機能低下が高度に進んだ症例においては、測定する意義はないと考えられる。

また、当該検査は、厚生労働省通知※において、「尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できる」旨示されている。

以上のことから、当該検査について、腎機能低下（疑い含む。）、慢性腎炎、腎不全の疑いに対する算定は原則として認められるが、末期腎不全、腎不全（透析施行中）に対する算定は原則として認められないと判断した。

（※）診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	宮城、岐阜、徳島、長野	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	長野、宮城、岐阜	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	徳島、宮城、岐阜、長野	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・腎不全にて腎移植を行った患者であり、移植後の腎臓に対して腎不全を疑い、当該検査を行っていることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年7月審査分

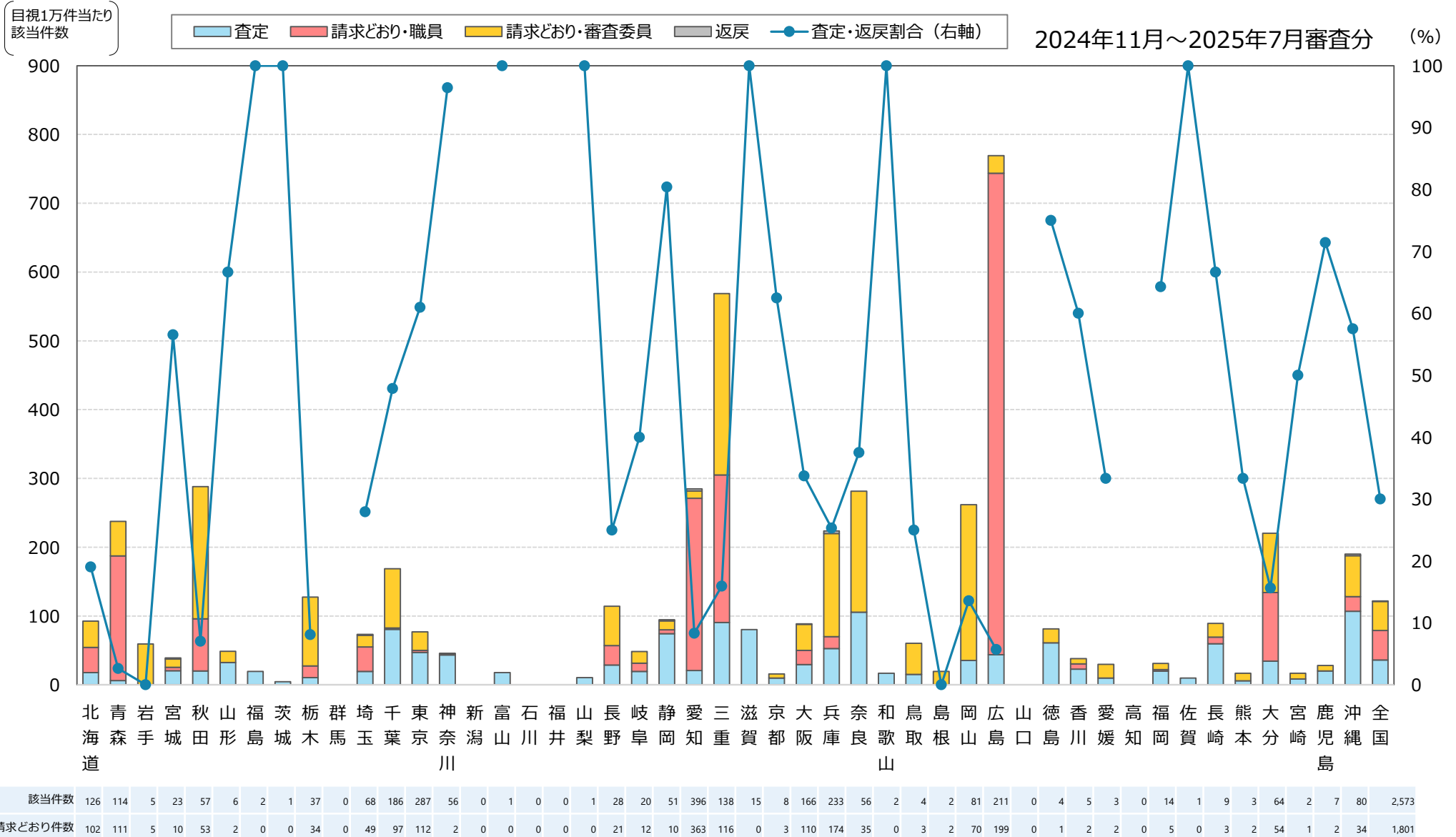
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,573件のうち、取扱いと異なる審査は67件（2.60%）
検証対象28都道府県のうち、フォローアップ対象は4都道府県

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							請求どおり 詳記等 から適正				
01 北海道	126	125	99.21%	24	0	24	101	1	0.79%	0	1
02 青森	114	114	100.00%	3	0	3	111	0	0.00%	0	0
03 岩手	5	5	100.00%	0	0	0	5	0	0.00%	0	0
04 宮城	23	13	56.52%	12	1	13	0	10	43.48%	3	7
05 秋田	57	57	100.00%	4	0	4	53	0	0.00%	0	0
06 山形	6	6	100.00%	4	0	4	2	0	0.00%	0	0
07 福島	2										
08 茨城	1										
09 栃木	37	36	97.30%	3	0	3	33	1	2.70%	0	1
10 群馬	0										
11 埼玉	68	66	97.06%	18	1	19	47	2	2.94%	0	2
12 千葉	186	182	97.85%	89	0	89	93	4	2.15%	2	2
13 東京	287	271	94.43%	175	0	175	96	16	5.57%	4	12
14 神奈川	56										
15 新潟	0										
16 富山	1										
17 石川	0										
18 福井	0										
19 山梨	1										
20 長野	28	23	82.14%	7	0	7	16	5	17.86%	3	2
21 岐阜	20	15	75.00%	8	0	8	7	5	25.00%	1	4
22 静岡	51	47	92.16%	40	1	41	6	4	7.84%	2	2
23 愛知	396	393	99.24%	29	4	33	360	3	0.76%	3	0
24 三重	138	136	98.55%	22	0	22	114	2	1.45%	2	0

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							請求どおり 詳記等 から適正				
25 滋賀	15										
26 京都	8										
27 大阪	166	162	97.59%	55	1	56	106	4	2.41%	4	0
28 兵庫	233	228	97.85%	55	4	59	169	5	2.15%	1	4
29 奈良	56	55	98.21%	21	0	21	34	1	1.79%	0	1
30 和歌山	2										
31 鳥取	4	4	100.00%	1	0	1	3	0	0.00%	0	0
32 島根	2	2	100.00%	0	0	0	2	0	0.00%	0	0
33 岡山	81	81	100.00%	11	0	11	70	0	0.00%	0	0
34 広島	211	210	99.53%	12	0	12	198	1	0.47%	0	1
35 山口	0										
36 徳島	4	3	75.00%	3	0	3	0	1	25.00%	0	1
37 香川	5	4	80.00%	3	0	3	1	1	20.00%	0	1
38 愛媛	3	3	100.00%	1	0	1	2	0	0.00%	0	0
39 高知	0										
40 福岡	14										
41 佐賀	1										
42 長崎	9	9	100.00%	6	0	6	3	0	0.00%	0	0
43 熊本	3										
44 大分	64	64	100.00%	10	0	10	54	0	0.00%	0	0
45 宮崎	2										
46 鹿児島	7										
47 沖縄	80	79	98.75%	45	1	46	33	1	1.25%	0	1
全国	2,573							67	2.60%	25	42

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数